

## 第16回 多職種勉強会

8/31（水）に「多職種でくみとるACP～大切な想いをわかちあうために～」をテーマに多職種勉強会を開催しました。今回も、オンラインのみの開催で、約 109 組の方々にご参加いただきました。

話題提供では、済生会松阪総合病院医療ソーシャルワーカー奥村裕司氏、嘉祥苑訪問看護ステーション管理者 杉平由美氏、(代理で虹が丘クリニック訪問看護ステーションの市川千恵子氏)にご講義いただきました。奥村氏には、松阪地域の病院の現状をもとにお話ししていただきました。コロナ禍により制限があるなかでコミュニケーションの工夫や対応の仕方を考えてみえる様子が伺えたお話でした。また、松阪地区歯科医師会理事の黒井建志氏の進行により、事前にいただいた質問に対し参加者にお答えいただきました。突然の指名にもかかわらず、多職種それぞれの立場からお話をさせていただきました。また、杉平氏から提供された3つの事例を市川氏に紹介していただきました。最後は、松阪地区薬剤師会会長の中村文彦氏に講評をいただき、ACPは、何度も繰り返し話し合い、ささいな会話の中でのキーワードに気づき、キーワードを多職種で共有する大切さがわかる勉強会になりました。

オンライン研修で聞き取りにくさ等ご迷惑をおかけしました。次回以降快適な研修になるように努めてまいります。

ご参加いただきありがとうございました。



### ～参加者の方々の感想～

- ・実例を知る事でACPを繰り返しおこない、本人・家族の気持ちの変化によりそう支援が必要だと思った。なぜ、延命したいのか、目標を共有する事は大事な事だと思った。
  - ・ACPのタイミングについて、この勉強会だけでも多くの意見があった。多様性を認め支援者として働きかけやすいタイミング等をこれから考えていきたい。
- (アンケートより抜粋)

## 連携拠点からのお知らせ

- ・連携拠点では、今年度の取り組みとして、高齢者の住まいに関する情報収集を行い、現在とりまとめ中です。ご協力いただいた関係施設の皆様ありがとうございました。
- ・地域の医療機関・介護に関する資源のリスト、マップを作成をしました。情報共有システム「すずの輪」に掲載しておりますのでぜひご覧ください。



### 参考

トップページ>コミュニティ>松阪地域在宅医療・介護連携拠点さん  
>令和4年度資源リスト・地図



## 情報共有システム

### 『すずの輪』について

退職や異動にともなう所属変更等があった場合は、**ID停止や所属変更の届け出の手続きをお願いいたします。**

また、ID・パスワードを紛失された方もご連絡ください。

必要な書類や説明につきましては、システム内の『松阪地域在宅医療・介護連携拠点さん』をご参照ください。

情報共有システム『すずの輪』のID取得済みのままではないですか？  
ID取得済みの方は一度「カナミックネットワーク」へログインしてみてください。

情報共有システム『すずの輪』を通し、医療・介護に関する情報を掲載しています。お気軽にご覧いただき、ご活用ください。

ご不明な点がございましたら、ご連絡ください。

連携拠点で対応させていただきます。



## 多職種紹介リレー

多職種紹介リレーは、普段の関わりのきっかけづくりを目的に、地域の専門職の方々にリレー形式で自己紹介をしていただいています。バトンは、大台町地域包括支援センター 主任介護支援専門員の木下聡子さんから大台厚生病院 作業療法士 加太俊太郎さんに引き継がれました。



皆様初めまして。木下さんからご紹介いただきました、大台厚生病院の作業療法士、加太俊太郎です。作業療法士はリハビリ専門職の中の一つであり、文字通り「作業」を通じてリハビリを行う専門職です。日常生活活動はもちろん、調理活動・就労活動など人の日常生活に関わる全ての活動を「作業」と呼びます。どんなことが出来るようになりたいか、出来る必要があるかを患者様・利用者様と共に考え、その人らしい生活を取り戻すリハビリを提供しています。

さて、私個人のことを紹介させて下さい。私には5歳と3歳の娘がいます。今3人でハマっていることは…スズムシとミヤマクワガタの飼育です。（妻は虫が苦手です）7月上旬に知人から数十匹のスズムシの幼虫を譲ってもらい、家に持ち帰りました。最初は怖がって世話をする私の後

ろから見ていただけだった娘達でしたが、1週間も経てばどっちが餌をあげるか喧嘩するほど頼もしくなりました。そして、どんどん大きくなるスズムシを見て「早く鳴いて～」「もっと大きくなれ～」など話しかけています。虫の声を楽しむ文化は世界的にも珍しく、古くは万葉集にもみられることから、奈良時代から受け継がれてきた日本人独特の感性のようです。ミヤマクワガタは、祖父の家に遊びに行った際にたまたま捕れたらしくスズムシのお友達として我が家にやってきました。笑

夏が来るまではダンゴムシやアリですらまともに触れなかった娘たちが、スズムシを手に乗せ、クワガタを可愛がっている姿を見ると、私としては嬉しくなります。この広報誌が皆様の手に届く頃、我が家ではたくさんのスズムシが娘の小さな耳に秋を知らせてくれることを期待してしまいます。

加太さんからバトンを受け取っていただいた方を次号で紹介いたします。お楽しみに！



リーンリーン♪



## ☆4月より職員がかわりました



横井 真由実（よこい まゆみ）です。保健師です。専門職の方々のご意見をお聴きしながら、どういったことが必要とされているのか、勉強していきたいと思えます。お気軽にお声掛けください。よろしくお願いたします。



あとがき

朝、晩は涼しく感じられるようになり、秋が近づいてきたように思います。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。秋の楽しみを考えつつ、日々、連携拠点の情報をわかりやすく発信できるよう努めてまいります。



松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

〒515-0076 松阪市白粉町363番地

（松阪地区医師会館1階）

TEL:0598-25-3070 FAX:0598-25-3071

メール:ks-shien@city.matsusaka.mie.jp

◇月～金 9:30～16:00◇

（祝日・年末年始を除く）